

山田みやこの活動報告

令和元年8月18日(日)

子どもSUNSUNプロジェクト定期円卓会議に参加

会場 ホームタウン宝木

「子ども食堂を増やすにはどうしたらいいか」をテーマに、子ども食堂をやっている人や関心のある人が集まり議論をした。

4つのグループに分かれ話し合いをした。

《なぜ子ども食堂が増えないのか》

- ①子ども食堂やの支援の仕組みができていない
高齢者施設での子ども食堂は「目的外使用」という壁があり、営業許可が出にくい。(各市の保健所の認識の差?)
- ②どうやったらいいのかわからない
リスクがある
お手伝いの調理ボランティアならできるが、立ち上げるのは自信がない
- ③費用・人・食中毒など責任が重い
- ④子どもたちは参加したいが保護者が見えてこない

《子ども食堂を増やすにはどうしたらいいか》

- ①プロジェクトチームをつくり、立ち上げ支援
- ②子ども食堂を開催している所に参加(見学や手伝い)情報のポスティング
- ③行政から必要性を認められるようにする

《話し合いの結果》

- ・子どもへの伴走支援でサポート
- ・行政への働きかけ
 - ・行政が「支援をしなければ」と思うようにする戦略を考える
 - ・将来の生き方に課題がある子どもたちのために市民と一緒に支援
 - ・子どもSUNSUNプロジェクトでシンポジウムを開催し行政や個人での参加はあるが、行政の立場で参加(共催)してもらうためにパネラーとして登壇してもらう
 - ・現場の実情を理解してもらうことで財政支援を少しずつ得ていく
- ・民間でチームを作って子ども食堂を紹介
 - ・施設型、店舗型
 - ・相談窓口の開設
 - ・子ども食堂の横のつながりを強化
 - ・事例報告会
 - ・子ども食堂応援隊を作って活動
 - ・元教員をチームに引き込む

8/18 日曜 子どもSUNSUNプロジェクト
10:00-15:00
●ホームタウン宝木 (〒985-0801 宮城県仙台市青葉区2丁目263-1)
2019 第1回定期円卓会議

テーマ
子ども食堂をもっと、もっと増やすには、
どうしたらいいか、
一日、徹底的に考えよう!!

宇都宮の子ども食堂の必要数は415か所。小中学校に1つとしても98か所が目標です。しかし、現在の宇都宮の子ども食堂数は11か所(県内36か所)。昨年からは3か所の微増です。そこで、時間切れするような子ども食堂づくりミーティングではなく、午前・午後1日をかけて、子ども食堂が増える方策、やりだせない理由、作るための具体的な計画をたてるまでの徹底した戦略会議をします。

内容
■10:00-12:00/ 全体会・課題の共有
①ワールドカフェ「子ども食堂が増えるには」(悩んでいること、何が課題か?)
②課題を抽出(20分+発表)分×5チーム)・午後の分科会のチームを作る
昼食: 子ども食堂★無料塾「ホームタウン宝木」で寄付つき昼食
■13:00-14:00/ 悩んでいること分科会(3~4つ)
③分科会(40分)・例「会場の見つけ方」「協力を求める」「どう伝える」
■14:00-15:00
④総括会議・まとめ(40分+20分)

■参加者: 50人程度(子ども食堂やってみた人、やっている人、応援したい人)
■座長: 藤津守(湧生会代表)
■主催/とちぎコミュニティ基金 ■会場協力/ 子ども食堂★無料塾(社福) 正恵会+板木保健 医療生協+村井クリニック

